



呼び出し音

- [着信音に関する情報](#) (1 ページ)
- [着信音の構成](#) (2 ページ)
- [着信音の構成例](#) (7 ページ)
- [着信音の機能情報](#) (8 ページ)

着信音に関する情報

特殊呼び出し音

固有呼び出し音は、内部と外部の着信コールを識別するために使用されます。Cisco Unified Cisco Mobility Express に登録された任意の Cisco Unified IP Phone から発信された通話として定義された内部通話または、ローカル FXS ポートを通じてルートされた内部通話。

Cisco CME 3.4 以前のバージョンでは、標準呼び出しパターンがローカル SCCP エンドポイントに対するすべてのコールに対して生成されます。Cisco Unified CME 4.0 では、次の固有呼び出し音機能が SCCP エンドポイントに対してサポートされます。

- 電話番号が表示されるすべての電話機で、特定の電話番号に対するすべてのタイプの着信コールに使用される3つの呼び出しパターンのいずれかを指定します。電話機がすでに使用中の場合、着信コールはコール待機コールとして提示され、固有コール待機ビープ音が使用されます。
- `ephone-dn` に定義されているプライマリ番号またはセカンダリ番号に着信コール番号が一致する場合にのみ、固有呼び出し音を使用するかどうかを指定します。セカンダリ番号が `ephone-dn` に定義されている場合、セカンダリ呼び出し音オプションは無効になります。
- フィーチャ呼び出し音パターンを電話機の特定のボタンに関連付けて、同じ電話番号を共有する各種の電話機がさまざまな呼び出し音スタイルを使用できるようにします。

ローカル SIP エンドポイントの場合は、要求された呼び出し音のタイプが `alert-info` 信号を使用して電話機に通知されます。固有呼び出し音が有効になっている場合、Cisco Unified CME は Cisco Unified CME に登録されていない任意の電話機からローカルエンドポイントへの着信コー

ルに対して alert-info を生成します。着信ログからの alert-info は、内部的に生成される alert-info を優先させて発信ログに中継できます。

Cisco Unified IP Phone は標準的な Telcordia Technologies の固有呼び出し音タイプを使用します。

カスタマイズされた着信音

Cisco Unified IP Phone には Chirp1 および Chirp2 という 2 つのデフォルト呼び出し音タイプがあります。Cisco Unified Cisco Mobility Express は、パルス符号変調 (PCM) を使用してカスタマイズされた着信音をサポートします。

RingList.xml という XML ファイルは、Cisco Unified Cisco Mobility Express で登録されている IP Phone のデフォルトの呼び出しに利用できる着信音を指定します。DistinctiveRingList.xml という XML ファイルは、Cisco Unified Cisco Mobility Express で登録されている IP Phone の各回線表示で利用できる着信音を指定します。

保留インジケータ

保留インジケータは、コールを保留にしたアイドル状態の IP Phone でバースト呼び出し音を生成するオプション機能です。コールを保留している使用中の電話機に対して、コール待機ビープ音を生成するオプションが使用可能です。この機能は、デフォルトで無効にされています。構成情報については、[保留インジケータの構成 \(5 ページ\)](#) を参照してください。

I-Hold とも呼ばれる保留状態の LED カラー表示は、Cisco Unified CME 4.0(2) 以降のバージョンでサポートされます。I-Hold 機能は、Cisco Unified IP Phone 7931G などのサポートされる電話機の共有回線で、ローカル保留とリモート保留を区別するための視覚インジケータを提供します。この機能に、追加の設定は必要ありません。

着信音の構成

特殊着信音の構成

電話番号に対するすべての着信コールに呼び出し音パターンを設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

Cisco Unified CME 4.0 以降のバージョン。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-dn dn-tag [dual-line]**
4. **number number [secondary number] [no-reg [both | primary]]**

5. **ring** {**external** | **internal** | **feature**} [**primary** | **secondary**]
6. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	ephone-dn <i>dn-tag</i> [dual-line] 例： Router(config)# ephone-dn 29	ephone-dn コンフィギュレーションモードを開始し、ephone-dn を作成し、任意でデュアルラインステータスを割り当てます。
ステップ 4	number <i>number</i> [secondary number] [no-reg [both primary]] 例： Router(config-ephone-dn)# number 2333	この ephone-dn の有効な内線番号を設定します。
ステップ 5	ring { external internal feature } [primary secondary] 例： Router(config-ephone-dn)# ring internal	電話番号が表示されるすべての電話機で、この電話番号に対するすべてのタイプの着信コールに使用される呼び出しパターンを指定します。
ステップ 6	end 例： Router(config-ephone-dn)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

カスタマイズされた着信音の構成

カスタマイズされた着信音を作成するには、次の手順を実行します。

始める前に

Cisco Unified CME 4.0 以降のバージョン。

ステップ 1 カスタマイズされた各着信音の PCM ファイルを作成します（ファイルごとに着信音 1 つ）。PCM ファイルは次の形式ガイドラインに準拠する必要があります。

- 未加工の PCM（ヘッダーなし）。

- サンプリング回数：8,000 回/秒。
- 1 サンプルあたり 8 ビット。
- mLaw 圧縮
- 呼出音の最大サイズ：16,080 サンプル。
- 呼出音の最小サイズ：240 サンプル。
- 呼び出し音のサンプル数が 240 で割り切れること
- 呼び出し音は、ゼロ交差で開始および終了していること

これらのファイル形式要件をサポートするオーディオ編集パッケージを使用して、カスタマイズされた電話呼び出し音の PCM ファイルを作成します。

サンプルの着信音ファイルは、<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/ip-iostsp> の ringtone.tar ファイルにあります。

ステップ 2 テキストエディタを使用して RingList.xml ファイルおよび DistinctiveRingList.xml ファイルを編集します。

RingList.xml ファイルおよび DistinctiveRingList.xml ファイルには電話呼び出し音タイプのリストが含まれます。各ファイルは、呼び出し音タイプごとに使用される PCM ファイルと、Cisco Unified IP Phone の [呼出音タイプ (Ring Type)] メニューに呼び出し音ごとに表示されるテキストを示しています。

サンプルの XML ファイルは、<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/ip-iostsp> の ringtone.tar ファイルにあります。

RingList.xml ファイルおよび DistinctiveRingList.xml ファイルは、次の形式を使用してカスタマイズされた呼び出し音を指定します。

```
<CiscoIPPhoneRingList>
  <Ring>
    <DisplayName/>
    <FileName/>
  </Ring>
</CiscoIPPhoneRingList>
```

XML 呼び出し音ファイルは次のタグ定義を使用します。

- 呼び出し音ファイルには 2 つのフィールド (DisplayName および FileName) があり、これらのフィールドは電話呼び出し音タイプごとに必要です。リストできる呼び出し音の最大数は 50 です。
- DisplayName には、関連付けられた PCM ファイルのカスタマイズされた着信音の名前を定義します。この名前は、Cisco Unified IP Phone の [呼出音タイプ (Ring Type)] メニューに表示されます。
- FileName には、DisplayName に関連付けるカスタマイズされた呼び出し音の PCM ファイルの名前を指定します。
- DisplayName フィールドと FileName フィールドは、25 文字以下にする必要があります。

次のサンプル RingList.xml ファイルは 2 つの電話呼び出し音タイプを定義しています。

```
<CiscoIPPhoneRingList>
```

```
<Ring>
  <DisplayName>Piano1</DisplayName>
  <FileName>Piano1.raw</FileName>
</Ring>
<Ring>
  <DisplayName>Chime</DisplayName>
  <FileName>Chime.raw</FileName>
</Ring>
</CiscoIPPhoneRingList>
```

ステップ 3 PCM ファイルおよび XML ファイルを Cisco Unified CME ルータ上のシステム フラッシュにコピーします。
例 :

```
copy tftp://192.168.1.1/RingList.xml flash:
copy tftp://192.168.1.1/DistinctiveRingList.xml flash:
copy tftp://192.168.1.1/Piano1.raw flash:
copy tftp://192.168.1.1/Chime.raw flash:
```

ステップ 4 **tftp-server** コマンドを使用してファイルへのアクセスを許可します。例 :

```
tftp-server flash:RingList.xml
tftp-server flash:DistinctiveRingList.xml
tftp-server flash:Piano1.raw
tftp-server flash:Chime.raw
```

ステップ 5 IP Phone をリブートします。リブート後、IP Phone は、XML ファイルと着信音ファイルをダウンロードします。カスタマイズされた呼び出し音を選択するには、電話機の [設定 (Settings)] ボタンを押してから、[呼出音タイプ (Ring Type)] メニュー オプションを表示します。

保留インジケータの構成

コール保留機能はデフォルトで使用可能です。コールが保留待機中であることを通知するオーディオインジケータを定義するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-dn dn-tag [dual-line]**
4. **hold-alert timeout {idle | originator | shared | shared-idle} [recurrence recurrence-timeout] [ring-silent-dn]**
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例 : Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	ephone-dn dn-tag [dual-line] 例： Router(config)# ephone-dn 20	ephone-dn コンフィギュレーションモードを開始し、ephone-dn を作成し、任意でデュアルライン ステータスを割り当てます。
ステップ 4	hold-alert timeout {idle originator shared shared-idle} [recurrence recurrence-timeout] [ring-silent-dn] 例： Router(config-ephone-dn)# hold-alert 15 idle recurrence 3	保留中のコールについてユーザに警告するための警告音通知を Cisco Unified IP Phone に設定します。 (注) 保留中の通話発信者の視点では、 originator および shared キーワードは、同じ機能を提供します。
ステップ 5	end 例： Router(config-ephone-dn)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

SIP 電話機での特殊呼び出しの有効化

外部着信コールと内部着信コールを区別するための呼び出し音パターンを設定するには、次の手順を実行します。



制約事項 SIP 電話機でサポートされる Telcordia オプションは、bellcore-dr1 から bellcore-dr5 だけです。

始める前に

Cisco Unified CME 3.4 以降のバージョン。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register global**
4. **external-ring {bellcore-dr1 | bellcore-dr2 | bellcore-dr3 | bellcore-dr4 | bellcore-dr5}**
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	voice register global 例： Router(config)# voice register global	音声レジスタ グローバル構成モードを開始して、Cisco Unified CME でサポートされるすべての SIP 電話機に対してパラメータを設定します。
ステップ 4	external-ring { bellcore-dr1 bellcore-dr2 bellcore-dr3 bellcore-dr4 bellcore-dr5 } 例： Router(config-register-global)# external-ring bellcore-dr3	外部コールに使用する呼び出し音のタイプを指定します。 • デフォルト：内部呼び出し音がすべての着信コールに使用されます。
ステップ 5	end 例： Router(config-register-global)# end	コンフィギュレーションモードを終了して、特権 EXEC モードを開始します。

着信音の構成例

内部通話用特殊着信音の構成例

次の例では、内線 2333 の内部コール用に固有呼び出し音を設定します。

```
ephone-dn 34
number 2333
ring internal
```

保留インジケータの構成例

次の例で、内線 2555 は、Cisco Unified CME システム内部のローカル コールを転送しないように設定されています。内線 2222 が内線 2555 にダイヤルします。2555 が話中であれば、発信者にビジー音が聞こえます。2555 が応答しなければ、発信者にリングバックが聞こえます。内部コールは転送されません。

```
ephone-dn 25
number 2555
no forward local-calls
call-forward busy 2244
call-forward noan 2244 timeout 45
```

着信音の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレーンで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: 着信音の機能情報

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
特殊呼び出し音	4.0	電話番号が表示されるすべての SCCP 電話機で、個別の電話番号に対するすべての着信通話用の着信音を選択できます。
	3.4	Cisco Unified CME に登録されていない任意の電話機からローカル SIP エンドポイントへの着信コールに対して alert-info を生成します。
カスタマイズされた着信音	4.0	カスタマイズされた着信音機能が導入されました。

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
保留インジケータ	4.0(2)	保留状態の LED カラー表示を制御して、Cisco Unified IP Phone 7931G などのサポートされる電話機の共有回線でのローカル保留とリモート保留を区別するための視覚インジケータを提供します。
	2.0	オーディオ保留インジケータが導入されました。
	1.0	コール保留が導入されました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。